

安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

我が国は世界に先駆けて超高齢社会を迎え

るとともに、2008年以降、日本の人口そのものが減少する時代となっています。

政府では、昨年12月、世界に類を見ないスピードで進行している人口減少・高齢社会の原因を、東京への一極集中と少子化によるものと定義し、都市部から地方へ移転しやすい環境づくりとともに、結婚から出産、子育てまでの連動した支援について定めた「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定するとともに、全国の地方公共団体に対しても「地方版総合戦略」の策定を要請しているところです。

安平町では、今回の政府の対策に先んじて、旧町時代から人口減少対策を最重要課題として取り組み、過去には人口増加を達成した時期もありましたが、合併以降の9年間では約800人が減少し、高齢化率も33%を超えるなど、近年は人口減少・少子高齢化に歯止めがかからない状況にあります。

地方創生という政府の動きをチャンスとして捉え、この地域を、未来を背負っていく今の子どもたち、そしてこれから生まれてくる子どもたちにしっかり引き渡せるよう、改めて施策を展開するため、「安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することとしています。

計画の概要

計画期間 平成27年度から平成31年度までの5か年間

概 略 当町は昭和35年の14,485人をピークに人口が継続的に減少し、前回の国勢調査（平成22年）時点で8,726人となっています。

機関の推計によれば、このまま人口減少が進めば平成52年（2040年）には5,897人（高齢化率41.6%）と予測されています。

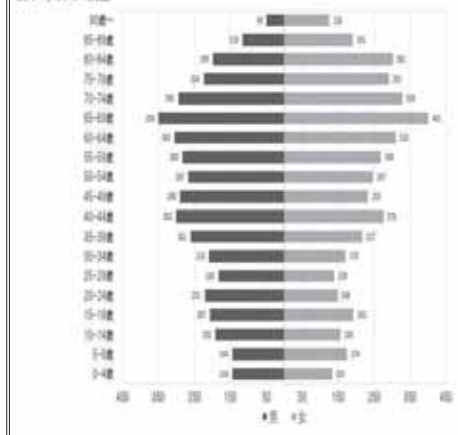
人口減少の一番の問題点は、少子高齢化であり、当町も特に20～30代の子育て世代の年齢層の人口が少なく、老年人口の比率が増加している現状にあり、今年3月末の時点で高齢化率33.6%と全国・全道平均を大きく上回っています。

こうした現状を重く受け止め、改めて当町の人口の現状を分析し、減少スピードを抑制する可能性と方向性を探り、目標を定めて施策を展開する内容となっています。

安平町の総人口の推移（1955年（昭和30年）～2040年（平成52年））



安平町の人口構造（安平町人口ピラミッド（推計））



（意見の募集要領は右ページをご覧ください。）

安平町まちづくり基本条例や安平町町民参画推進条例などの運用状況等をチェックする町民自治推進委員会では、町民参画手法の改善点や工夫すべき点などの審議をいただいています。町では、まちづくり基本条例の理念に沿って、より町民の皆さんが意見を提出しやすい参画形態となるよう、町民自治推進委員会からのご意見等を踏まえ、工夫をしながら町民参画に取り組むことに努めているところです。